

B-11 接着心布に関する研究 第1報 ワイシャツの心布に用いた場合

東京都立立川短大 石毛フミ子

1. 不織布に接着剤をつけた心布が出てきた。ワイシャツの心布として使用する場合、表布に接着するときのアイロンの温度、洗たくによる変化、糊付布との比較をおこない、ワイシャツの心布として適当か否か検討した。

2. 実験材料、表布は40番ブロードクロースの樹脂加工布、改質綿布、サンフォライズ加工布の3種、接着心布はヒューズパネロン。

実験項目 ① 接着するときのアイロンの温度。アイロンの温度 120°C 、 140°C 、 160°C 、 180°C 、接着時間 5'、10'、20'、30'、40'、50'、60' とし、更にそれぞれを10回洗たくをおこない別離の状態を観察。

② 接着布の洗たくによる収縮、厚さ、剛軟度の変化
洗たく回数15回、剛軟度は 45° カンチレバ法による。

③ 接着布と糊付布との固さの比較。糊付布 CMC, 0.6%, PVA 1%, コンスターチ 1.5% のものと比較。

3. ① アイロンの適温 140°C 10'.

② 洗たくによる収縮、収縮率すべて 0.5% 以内。改質綿布 < 樹脂加工布 < サンフォライズ加工布。

洗たくによる厚さは回数を重ねてもほとんど大差なし。剛軟度は回数の増加と共に減少の傾向。

③ 接着布と糊付布との固さの比較。C. M. C 0.6%。Sは洗たく10回数とほぼ同じ。Mは15回、J = 7回。P. V. A 1%の糊付布は接着布の洗たく15回後のものよりやわらかい。コンスターチ 1.5%。Sは5回、M、Jは15回とほぼ同じ。